

平成29年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策)事業実施主体 評価一覧

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階			評価	評価コメント
				H29	H30	H31		
東北	青森県	五所川原市	特定非営利活動法人かなぎ元気倶楽部	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。次年度以降の宿泊者数及び体験者数の拡大に向けて、まずはグランピングや農泊が可能な蔵等の施設整備が急務である。地域資源である蔵の魅力を活用できるような農泊プログラムの開発を、関係機関で連携しながら推進してほしい。今後は、グランピング等の宿泊客や体験プログラムの参加者からの意見を参考にPDCAサイクルに従って、農泊事業の更なる展開を期待したい。
東北	青森県	鱒ヶ沢町	特定非営利活動法人白神自然学校一ツ森校	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。教育旅行等の誘致を通じた都市農村交流人口と外国人旅行者の拡大を目指して、農泊の受入環境の整備や体験プログラムの開発に積極的に取り組んでいる。特に、本事業を通じて地域の課題解決に向けた意識の醸成が図られたことは、次年度以降の積極的な事業展開に期待がもてる。今後は、モニターツアー等の参加者の意見を参考にPDCAサイクルに従って、農泊・民泊や体験プログラムの充実が図られることを期待したい。
東北	青森県	南部町	NPO法人青森なんぶの達者村	●	□		B	計画に基づく取組がおおむね実施され、ある程度成果があがっていることから、評価をBとした。農家民泊の受入農家の負担を軽減するために、農家だけでなく観光農園等をサポーターとして登録し、役割分担をすることで受入農家の負担軽減を目指す取り組みは、事業の継続性に期待がもてる。次年度以降は、売上げや宿泊者数の確保に向けて、受入農家数を増やすことが喫緊の課題となる。先進事例の視察研修や受入農家の成功体験を共有することで、着実にその数が増えることを期待したい。
東北	青森県	平川市	農業生産法人 株式会社グリーンファーム農家蔵	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。事業を開始して初年度ではあるが、目標は概ね達成できており、また農泊の誘致や情報発信、米粉パンの開発等にも精力的に取り組んでおり、次年度以降の事業の展開に期待がもてる。地域の魅力を活かした農業体験と運動した農泊プログラムの雛形は完成していると思われるので、今後は宿泊客からの感想や意見を参考に体験プログラムの一層の充実を図ることで、教育旅行の受入拡大とともに地域農業の活性化に期待する。
東北	岩手県	一関市、平泉町	平泉一関エリア農泊推進協議会	● ★	□	◇	B	計画に基づく取組がおおむね実施され、ある程度成果があがっていることから、評価をBとした。農泊の推進に向けて、駅前の拠点施設にオペレーション機能を集約させることで宿泊者の利便性向上が図られており、今後の取り組みの基盤は着実に整備されている。農業体験者数が微減している点については、平泉一関エリアの地域資源を活用した独自の体験メニューの開発が求められる。協議会の若い世代からの意見や農業体験者からの感想を参考にPDCAサイクルに従って、体験プログラムの拡充が図られることを期待する。

注1:「事業実施段階」の凡例

ソフト対策 ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

ハード対策 ☆…交付対象年度(計画) ★…交付対象年度(実施済) ◇…目標年度(計画) ◆…目標年度(実施済)

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階			評価	評価コメント
				H29	H30	H31		
東北	岩手県	釜石市	釜石オープン・フィールド・ミュージアム実行委員会	●	□		B	計画に基づく取組がおおむね実施され、ある程度成果があがっていることから、評価をBとした。2019年のラグビーW杯の開催地としての強みを活かすべく、外国人観光客の受入体制を強化し、国際水準の持続可能な観光地域を目指した取り組みに精力的に取り組んでいる。今後は、農泊利用者がリピーターとなってくれるような魅力ある体験プログラムの開発に力を入れるとともに、利用者からの意見や感想を参考にPDCAサイクルに従って、体験プログラムのブラッシュアップを図ってほしい。
東北	岩手県	久慈市	侍浜町振興協議会	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。地域資源を活用した食の商品開発や、体験プログラムのモニターツアーを実施するなど、初年度から精力的に事業に取り組んでいることが、売上げと利用者の目標達成に貢献していると思われる。それぞれの取り組みは侍浜町ならではのメニューであることから、今後は協議会が中心となって、個々のメニューを組み合わせた魅力ある農泊プログラムの開発が求められる。地域資源を最大限に活用しながら、女性グループの協力や、農漁カフェのような若者世代のニーズを取り込むイベントも実施しており、今後の更なる事業の発展に期待したい。
東北	岩手県	遠野市	遠野ふるさと体験協議会	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。郷土食である「ひっこ蕎麦」の復活や、宗教上のニーズに応じた食事の提供など、「食」に注力して国内外の観光客の受入強化に取り組んでおり、初年度からその成果が表れている。次年度以降は、「食」を中心に据えながら、農業体験等の体験プログラムの開発や他の観光施設との連携により、より魅力あるグリーンツーリズムとなることを期待したい。
東北	岩手県	花巻市	花巻農業協同組合	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。事業初年度ということもあり、実施体制の整備や地域資源の発掘等、次年度に向けた基盤整備は進められている。留学生を対象に実施したモニターツアーから抽出された受入体制の課題については、組織の中での役割分担を明確化すること等により解決してほしい。今後は、協議会が中心となって受け入れる農家側の農泊に対する理解醸成を深めることで、農家民宿の新規開業者数及び宿泊者数の増加に繋がることを期待したい。
東北	岩手県	花巻市	東和地域交流のまちづくり協議会	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。ひとつひとつの取り組みをきちんと行い、バランス良く事業を進めておられると考える。しかしながら、今後継続していく足がかりをつくるためにも、農林漁業体験者数をもう少し増やし、受け入れ実績の増加を図ることが必要ではないだろうか。「地域ぐるみでお迎え」するためには、本事業の取り組みを地元の多くの方に周知することが大切と思われる。今後の活動に期待する。
東北	岩手県	八幡平市	八幡平松尾地区農泊推進協議会	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。馬文化の継承や温泉熱を利用したマッシュルーム栽培に取り組み、農泊につなげていこうとする試みは他地域との差別化が図られる。この取り組みを継続し、地元根付かせるためには、本事業の目的や取り組み内容等を地元の多くの方に周知し、巻き込むことが大切と思われる。そのためにも、体験参加者数の実績をもう少し増やし、売上を計上し、地域内で人の流れ、お金の流れをつくるのがポイントと考える。今後の取り組みに期待する。

注1:「事業実施段階」の凡例

ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) ◇・・目標年度(計画) ◆・・目標年度(実施済)

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階			評価	評価コメント
				H29	H30	H31		
東北	宮城県	石巻市	雄勝町渚泊推進協議会	●	□		B	計画に基づく取組がおおむね実施され、ある程度成果があがっていることから、評価をBとした。今後本事業を進めるために、まずは民泊受け入れ戸数を増やすことが前提と考える。そのためにも地元住民に対してさらに理解を深めるような取り組みを徹底することが大切と考える。また、今後事業を継続していくためにも関係団体等のノウハウを地元へ伝授していくことも大切である。早期に課題を抽出し、関係者で共有し解決していけるよう、今後の活動に期待したい。
東北	宮城県	大崎市	一般社団法人みやぎ大崎観光公社	●	□		B	計画に基づく取組がおおむね実施され、ある程度成果があがっていることから、評価をBとした。ワークショップやモニターツアー等を開催しながら取り組みを進めているが、以前から民泊を行ってきた下地がある地域なので、受け入れ人数、売上について更なる向上を期待する。民泊受け入れ農家の調査を徹底して行い、新しい受け入れ農家を確保し、宿泊が難しい場合は短時間でも対応できる方をいかに発掘していくかが今後のカギと思われる。世界農業遺産の認定地域として、体験メニューやコースづくりはぜひ精査し、他地域と差別化を図っていただきたい。
東北	宮城県	気仙沼市	一般社団法人気仙沼地域戦略	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。短い期間の中で、できる限り事業を進めてこられた様子が伺える。農泊については、プロモーション活動や研修会、先進地視察など誘客につながることを行いながら、地域の団体、個人へ受け入れについて理解を深め、参加を促すような取り組みを同時に行っていくことがポイントと考える。今後も気仙沼ならではの取り組みに期待する。
東北	宮城県	登米市	食農体験ネットワーク登米協議会	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。関係者が目的を共有し、さまざまな取り組みをしっかりと行っていると思われる。登米市がどのように認識されているかなどについて調査していることは戦略を立てるうえで有効である。農泊受け入れ戸数を記載するとともに、インバウンド対応による地元へ波及効果も分析していただきたい。今後も活動を継続、展開していくうえでも地元へ調査結果、対応状況などを共有しさらに精査されることを期待する。
東北	宮城県	大和町	あさひな農業協同組合	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。短期間に事業を進めているが、もう少し時間をとって丁寧に進めることは出来なかったのだろうか。資源の洗い出し、磨き上げ、農泊への理解を深め、受け入れ戸数を増やすためには大切な時間である。ワークショップ、資源調査等については、行ってどのような意見が出てどう対応していくのか等もう少し詳しい記載を行っていただきたい。
東北	秋田県	大館市	大館市まるごと体験推進協議会	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。インバウンドに積極的に取り組む姿勢が評価できる。ある意味、取組を絞り込みそれに特化していくことも他地域との差別化となる。事業をすすめるうえで常に関係者が課題を共有し、解決しながら継続していただきたい。今後の展開に期待する。

注1:「事業実施段階」の凡例

ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) ◇・・目標年度(計画) ◆・・目標年度(実施済)

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階			評価	評価コメント
				H29	H30	H31		
東北	秋田県	藤里町	ふじさと粕毛まちづくり協議会	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。さまざまな取り組みをすすめながら農泊受け入れは6軒を確保されたとのこと。今後事業を継続していくためにもさらに受け入れ軒数を増やし、多くの人の出番をつくるのが重要である。ぜひこの地域ならではの農泊モデルをつくっていただきたい。今後の展開に期待する。
東北	秋田県	湯沢市	秋ノ宮地域都市農村共生対流推進協議会	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。計画通りに取り組んでおり、また目標以上の成果が得られていることから積極的に取り組んでいることがうかがえる。農泊を主目的としており、まだ初年度ということで地域での「宿泊」の全面实施に至っていないようだが、これからが本番である。地域の魅力を発見し、伝え、そして惹きつけられるよう、これからの期待したい。
東北	山形県	西川町	西川町農泊推進協議会	●	□ ☆	◇	B	計画に基づく取組がおおむね実施され、ある程度成果があがっていることから、評価をBとした。計画通りの取組がなされており、また、体験プログラムの参加者も目標値を超えていることから、外からの関心は高いと思われる。農泊を実施するに当たって地域の魅力も大切だが、継続して実施していくためにはその価格もまた重要なところである。地域の魅力を伝えるとともに、農泊の必要なコストなども検討し、その両輪を廻すことで地域活性化が図られることを期待したい。
東北	山形県	山形市	農事組合法人村木沢あじさい営農組合	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。ほぼ計画通りの取組がなされており、取組への意欲が感じられる。こうした取組を初めて行くと、いろいろ試行錯誤することもあり、体験プログラムのように、いざ実行しようとして欠点に気づき、想定通りの結果にならないということもある。29年度は0円だった体験プログラムに、30年度は参加費用が発生するため相当な準備が必要である。すでに試行錯誤の結果、地域の魅力などについて様々な「気づき」や知見が得られていることから、それをもとにして、PDCAサイクルを廻ししっかり評価・改善して30年度に活かしていただきたい。
東北	山形県	新庄市	新庄市明倫堂プロジェクト協議会	●	□		A	計画に基づく取組がおおむね実施され、ある程度成果があがっていることから、評価をBとした。ほぼ計画どおりの取組がなされており、自己評価通り体験ツアーにも予想を上回る参加者があった。ただし、昨年度も参加者が多くあり、このことは地域に既に魅力があり、参加者はむしろそうしたものに惹かれて参加しているのかもしれない。それがどのようなものなのかという「気づき」を今後農泊に組み込み、事業として発展していくことに期待したい。
東北	山形県	鶴岡市	特定非営利活動法人自然体験温海コーディネート	●	□		A	計画に基づく取組がおおむね実施され、ある程度成果があがっていることから、評価をBとした。計画通りに取り組んでいる。また売上げと体験利用者数が当初想定約2倍となるなど、取組内容が何かしらのニーズと合致している印象を持つ。次年度の目標はさらに高いところにあるので、これまでやってきたことについてPDCAサイクルを廻して実施することに努めていただきたい。また、農泊についても実現されたい。

注1:「事業実施段階」の凡例

ソフト対策 ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

ハード対策 ☆…交付対象年度(計画) ★…交付対象年度(実施済) ◇…目標年度(計画) ◆…目標年度(実施済)

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階			評価	評価コメント
				H29	H30	H31		
東北	福島県	喜多方市	喜多方市体験活動推進協議会	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。取組も計画通りすべてに取り組み、また、売上げ、宿泊者数ともに目標を超えて順調な初年度であるといえる。特に外国人のインバウンドを視野にした取組は、農泊への本格的な取組を期待させるところである。宿泊を伴う場合は、地元の魅力を見いだすとともに、宿泊施設での対応も重要であり、施設の担い手の本気度＝ヤル気によるところが大きい。初年度の成果を踏まえ、更なる取組に期待したい。
東北	福島県	白河市	白河市大信地域交流促進協議会	●	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。取組も計画もすべてに取り組んでいて、売上げ、宿泊者数の目標もすべて達成している。また、雇用を1名おいているなど体制の充実が図られ、そのうえ同地の資源開発にも熱心に取り組んでいる。福島県の同地においては原発事故以後の風評被害などもあり、宿泊などの交流も逆風の時もあったが、ようやく当事者の努力が実り事故以前に回復しつつある状況にあると思われる。以前の交流を回復し、従前以上の成果を期待したい。
東北	福島県	西会津町	西会津農泊ビジネス推進協議会	● ★	□ ☆	◇	A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。取組も計画もすべてに取り組んでいて、売上げ、宿泊者数の目標もすべて達成している。また、自己評価でも「平成31年度から開業する宿泊施設の運営基盤の初期構築を達成することができた」とされ、その順調な取組は評価できる。農泊2軒での宿泊者数が160人と本格的な実施に至っており、外に地域の魅力が伝わっており、地域の経営として自立できていることがうかがえる。更に2軒が農泊に加わるので、同地域の取組が更に発展できることを期待したい。
東北	福島県	矢祭町	矢祭町農泊推進協議会	● ★	□	◇	A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。実施の期間が短かったものの、かなりの取組が行われた。これはあらかじめの計画もあったものと思われる。モニターツアーでは自己負担分を徴収しそれなりに売上げを挙げることができた。これが初めての試みであれば、顧客から辛辣な意見もあるだろうが、次につなげるためにはそれを受け止め、しっかりPDCAサイクルを廻して改善を図っていくことが大切である。また、大学との連携も教育旅行の受け入れとして農泊の重要な手法であるとともに、ノウハウを蓄積することで地域の財産となり得る。来年度の改善に期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例

ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) ◇・・目標年度(計画) ◆・・目標年度(実施済)